

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.1 5

開催地：八代市金剛地区

平成 19 年 6 月 26 日（火）、八代市金剛校区（会場：鼠蔵町研修所地域学習センター）において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」を実施しました。
 同報告会には、約 20 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。
 いただいたご意見等並びにご意見等への回答については下記のとおりです。
 なお、報告会の時に回答した内容が不十分であったところについては補足しています。

参加者数※

市内	15 名
市外	5 名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問	ご意見・ご質問への回答
<p>【河川整備基本方針の説明について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 説明を聞くと、ダムを造る以外に方法が無いのではと思う。最初から方向性が決まっている説明会になっているのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針における計画高水流量については、できるだけ河道で安全に流すことを念頭に、河道掘削に加え、引堤や嵩上げ等の方法の組合せも考慮し、環境を含む自然的及び社会的制約の中で、河道でどれだけの流量を安全に流し得るのかという検討を実施したうえで設定しています。 球磨川についても、それらの観点で検討した結果、人吉地点の計画高水流量を 4,000m³/s としています。 人吉地点の基本高水のピーク流量 7,000m³/s と計画高水流量 4,000m³/s との差分 3,000m³/s については、ダムや遊水地等の洪水調節施設で対応することになります。 具体の施設については、今後、河川整備計画を作成する際に検討していくこととなります。
<ul style="list-style-type: none"> 3, 0 0 0 m³/s、4, 0 0 0 m³/s と言われても水量がどれくらいあるのか実感として分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> 流量は、簡単に申し上げると（流速×断面積）ですが、実物を見ることが困難であるため、実感がなかなか湧かないのは無理のないことかもしれません。 例えば、八代においては、平成 18 年 7 月洪水における横石地点のピーク流量は約 7,100m³/s（速報値）でした。当時の洪水現象と流量の数値を合わせて考えると、大まかな目安にはなると思います。
<p>【球磨川の治水対策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 出水期に漁に出て 20～30 分後に戻ると大洪水になっていることがある。ダムが満水状態になって急に放流する可能性があると思うが、どういう放流の仕方をしているのか。 	<p>【熊本県回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市房ダムは、人吉から約 30km 上流、八代市からは約 90km 上流にあります。市房ダムの放流水が人吉に到達するまで、約 3 時間を要するため、八代まで到達するには相当の時間を要します。 また、ダムは洪水時の時には、流入量の一部をダムに貯めて流入量より少ない量を放流しています。仮にダムが満水になっても、流入量と同じ量しか流さないように操作しています。 決して、ダムが満水状態になったからといって、貯めた水を一度にまとめて放流するようなことはありません。
<ul style="list-style-type: none"> 前もってダムに貯まっている水を減らしておくことはできない 	<p>【熊本県回答】</p>

<p>のか。</p>	<p>・この件については、県からは回答の機会が当日ございませんでしたので、以下のとおり回答します。 市房ダムの貯水位の低下には長時間を要するため、洪水調節の早い段階で事前放流を予測しなければなりません。そのため、降雨の正確な予測が不可欠であります。現状では難しい状況です。市房ダムは通常利水者のために水を貯めております。このため、事前放流となると利水者の協力が不可欠であります。</p>
<p>・八の字堰に土砂が大量に貯まっていて、船が通らない。土砂を撤去してもらえないか。</p>	<p>・報告会后、ご発言をされた方と一緒に現地の確認をさせていただき、土砂の堆積により八の字堰の機能にも影響する可能性がある判断されたため、土砂撤去を行いました。</p>
<p>【球磨川の環境について】</p> <p>・鮎の放流に携わっているが、3月1日から5月半ばまで水がなくて放流できない所が年々多くなってきている。漁協の方針では、35箇所放流するとなっているが、今年は21箇所しかできていない。ダムの水が貯まった場所に放流するしかない状況である。</p> <p>・遙拝堰の下流も、小さい川船でさえも渡れないところが何箇所もある。魚道を（魚が）通れるほどの水を流してもらえないのか。</p>	<p>・全国では、漁協、堰などの施設管理者、河川管理者とが協力し、例えば、堰などで貯めている水の放流をアユの遡上期等に合わせ変更するなどの様々な取り組みを実施している河川もあります。 このような取り組みを参考にしつつ、球磨川でもどのような取り組みが可能か、関係機関と連携を取りながら検討していきたいと考えています。</p> <p>・全国では、漁協、堰などの施設管理者、河川管理者とが協力し、例えば、堰などで貯めている水の放流をアユの遡上期等に合わせ変更するなどの様々な取り組みを実施している河川もあります。 このような取り組みを参考にしつつ、球磨川でもどのような取り組みが可能か、関係機関と連携を取りながら検討していきたいと考えています。</p>
<p>・ダム上流に土砂が貯まり、覆砂のように何億円とお金を掛けないと干潟が維持できない。このようなことに対する国土交通省の関わり方について教えて欲しい。</p>	<p>・球磨川では、例えば、川の中に堆積した土砂を漁協等と連携し八代海の覆砂に活用した事例もあります。 今後とも、関係機関と連携を取りながら、干潟の保全・再生に努めていく考えです。</p>
<p>・ダムに土砂が堆積しないようにするためには、支流に砂防ダムを設置しなければならないが、そうすると土砂が下流に流れず、干潟が縮小していく。人の力で土砂を堰き止めると我々の生活の糧である干潟が無くなってしまいます。国土交通省は今後、干潟を形成するために、どのような努力を行うのか。</p>	<p>・球磨川では、例えば、川の中に堆積した土砂を漁協等と連携し八代海の覆砂に活用した事例もあります。 今後とも、関係機関と連携を取りながら、干潟の保全・再生に努めていく考えです。</p>
<p>・（地下水の保全の観点から）山の峠から何kmぐらいは人工林の植生を規制するような法律を制定することはできないか。</p>	<p>・いただいたご意見は、河川管理者だけではなかなか対応できないところもありますので、熊本県の森林部局の方々にもいただいたアイデアが伝わるよう努力していきたいと思っております。</p>

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ 誹謗中傷するような発言については掲載しておりません。